

研究職員(テニユア型任期付)公募一覧表(令和8年4月)

テニユア 応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	複合材料研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付研究員(任期3年)	中層木造建築の普及のための木質材料の製造技術および性能評価技術の開発	非住宅・中層建築物等に国産材を用いた木質材料の利用を推進するためには、製造技術の高度化、長期性能評価に係る技術開発が必要となる。そのため、原料特性や製造因子に着目し、木質材料の製造及び諸性能の長期挙動や耐久性の評価に関する研究を行う。	(1)採用時に修士の学位以上を有する者 (2)木質材料の製造及び諸性能の評価に関する実績を有する者。関係者と連携して当該研究を推進できる者。 (3)勤務地: 研究所(つくば市) (4)採用された場合、全国規模の転勤が可能な者 (5)日本語で円滑なコミュニケーションが取れる者
2	森林総合研究所	九州支所	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付研究員(任期3年)	栽培きのご類の育種を効率的に推進するための技術の開発	栽培きのご類を対象として、生産に関わる表現形質の差異を評価し、それらの遺伝的な要因との関連を解明する。これらの知見に基づき栽培環境の温暖化等に対応した優良な形質を備えた品種を作出するための新たな育種技術を開発する。	(1)採用時に修士の学位以上を有する者 (2)菌類を対象とした分子生物学、生命情報学、及びゲノム編集技術の研究実績を有する者。 (3)勤務地: 九州支所(熊本市中央区) (4)採用された場合、全国規模の転勤が可能な者
3	森林総合研究所	森林防災研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付研究員(任期3年)	気候変動が森林の炭素固定機能あるいは降水流出過程に及ぼす影響の解明と変動予測技術の開発	気候変動にともなって極端現象が顕在化するなか、本研究所の有する長期試験地の観測データ等を活用して、攪乱や降水パターンの変動が森林の炭素固定機能や水源涵養機能に及ぼす影響を解明し、それらの長期的変動を予測する技術を開発する。	(1)採用時に修士の学位以上を有する者 (2)森林の二酸化炭素フラックス、あるいは森林水循環に関する観測・解析技術と研究実績を有し、森林環境研究に意欲を持って取り組むことのできる者 (3)勤務地: 研究所(つくば市) (4)採用された場合、全国規模の転勤が可能な者 (5)日本語での円滑なコミュニケーションが取れる者

テニユア 応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
4	森林総合研究所	木材改質研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付研究員(任期3年)	木材腐朽現象の包括的解明に基づいた新規木質材料への耐久性付与技術の開発	超厚合板等の新たな木質材料への耐久性付与に係る研究開発が必要とされており、輸出も視野に入れた木造・木質化建築物等への利用拡大に関する課題推進のため、木材の腐朽現象を体系的および網羅的に解析し、耐久性付与技術を開発する研究を行う。	(1)採用時に修士の学位以上を有する者 (2)木材腐朽に関する専門知識を持ち、木材腐朽菌の分子生物学や酵素解析技術を有する者。 (3)勤務地:研究所(つくば市) (4)採用された場合、全国規模の転勤が可能な者
5	森林総合研究所	林木育種センター	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付研究員(任期3年)	ゲノム情報と表現型情報を活用した林木の品種開発技術の開発	林木育種センターに保存された豊富な育種素材(例:スギ精英樹3,670系統など)を活用し、ゲノム情報や成長性・材質・着花性などの表現型情報を統合的に活用して高精度な系統評価技術や効率的な選抜技術を開発し、複数形質に優れた系統の効果的な開発技術に関する研究を行う。	(1)採用時に修士の学位以上を有する者 (2)ゲノム解析、統計解析、または表現型解析のいずれかの分野に関する研究実績又は解析技術を有する者。また、植物に関する生理学的、生態学的又は育種学的研究の経験や、分子生物学的手法、統計遺伝学的手法を用いた研究経験を有していればなお望ましい。 (3)最初の勤務地:林木育種センター(茨城県日立市) (4)採用された場合、全国規模の転勤が可能な者 (5)日本語で円滑なコミュニケーションが取れる者